

令和3年12月15日（水）13：15～16：00
第2回アルプス公園管理運営検討会議

【ゾーンの計画について】

（質問者：丸山） 今は池に水は張っていないのですか。

（回答者：事務局） 張っていない。

（質問者：丸山） 今後池に水を張る予定はありますか。

（回答者：事務局） 臭いやアシ（植物）の繁茂などといったものの対策で今は水を張っていない。

（質問者：丸山） 池に水を張るとトンボが来る。アシはとても繁茂する植物だから、植物を植えるときは鉢植えにし、横のほうに置くのはどうか。そうすればビオトープとして利用できるのではないか。池を大切にし、活用してほしい。

（回答者：TOY BOX） 4月中旬からポンプの稼働が始まるので検討していきたい。

（意見者：丸山） 池に水を張ると子供が集まる。集客につながるのではないかと思う。

（質問者：村上） ①森の入り口広場などの既存のものをリフォームするのか、それとも全く別のものに作り替えるのか。

②「テラスと橋」とあるがどういう形のものか。

（回答者：事務局） ①平成11年の当初出来る時の計画を見ると、池は当初無いものだった。しかし、テラスと橋の計画はあった。そのため今の池ができた。

②平成11年の計画整備方針、事業計画があった中で今の形になっているが、それを今後どうしていくのかを協議してほしい。

（質問者：小川原） 来園者が極端に少ないという話を聞いたが、今回のこの会議の中で、来園者を望む（増やす）という議題は今後あるのか。2月に向けてその策を練る時間はあるのか。

(回答者：事務局) 会議は2月が最後。それまでに集まればいいが、難しいため、メール等で投げかけをするので答えていただくといった形をとりたい。

ゾーニングなどの細かい部分について提言をするのではなくて、利用できる施設としてどうしたらいいのか検討してほしい。

(質問者：小川原) 皆さんからもらった意見を見ると、施設や通路と全て環境整備についてだと思う。そして、PRについて来園者を増やそうという意見もあったが、施設等が改善された等のPR方法をしてみてはどうか。市内だけではなく、市外にも行いたい。どれも行うには予算が絡む。そこは公園緑地の方をお願いするので皆さんと協議して、意見も多く出ているので、項目を設けて、予算立てをし、予算を要望してみてもどうか。案からのものは試算することもできる。例えば手すりは、擬木を使うのか、防腐剤を浸透させた自然木を使うかでだいぶ予算が変わってくる。細かく考えるとキリがないが、予算の中でできる範囲で環境整備を行うのはどうか。私がこの会議で大切なのはいかに来園者を増やすか、いかにそのテーマを利用するかだと思う。全く資料にないことで申し訳ないですが、そのように感じた。

(回答者：事務局) 私共も利活用するうえでももちろん来園者を増やすことも大事と思っている。来園者を増やすにあたってどうやって増やすのか、小川原さんが言ったように既存のものを利活用ができたらいいと思っている。平成11年のできた整備方針というものを大きく変えるつもりはないが、今現在の時代に合ったものに付け加えたりして、より活用していただけるものにするための意見をいただきたい。基本理念についてご理解いただけたということで $+ \alpha$ (プラスアルファ)になるものを意見としていただきたい。

(発言者：土田) 現地視察に行ったように来年度になれば具体的な検討をする組織ができると聞いているので、そこにつながるように基本的な案を提案してほしい。

(質問者：林)

①来園者を増やすような案をこの委員会で提案し、市長へ提言するものと思っていたが、今の話だと方針自体を見直して、今ある組織はどういうものかを話して終わってしまうと思っているが、最終的にこの委員がどう提言をするのかというイメージが自分の思っているものと違ったので確認をしたい。

②次回のミーティング（第3回会議）ではどういったことをするのかの確認をしたい。

(回答者：事務局)

第1回の会議では具体的な提言内容を絞っていこうと伝えているが、しかし3回の会議で提言をする中では、具体的なことよりも、今まで利用してきたものの利活用を進める内容を色濃くしていきたい。具体的な一歩を進める手前の段階で、そのゾーンについての活用をどうしていくかを明らかにしたい。少し方針が変わってきているということの説明不足だった。少し方針を変えて次へ進みたい。提言はあくまで具体的なものではなくて、一つに入り込んだものではなく、その場所をどう活用していくのかという方向性に定めて来年度につなげていきたい。

(回答者：前澤部長)

論点がズレたためもう一度確認をしたい。最初に話をした通り北側拡張部は利用が非常に少ないと、利活用がされていないということが一番の課題である。まずはここを利用してもらうということからこの会議は始まった。事務局で話をしているのは当初の計画には利用計画があり、今現在に至って、この計画を参考にして利用者を増やしていったらどうかと、それぞれゾーンに分けながらどうやって、何をしていけばいいのかと皆さんの意見を伺いたいということだ。目的は、ここの利活用について。あくまでここをたくさんの人に知ってもらいたい。例えばここを子供たちに水辺として遊んでもらったり、自然観察してもらったりとか、さらにそのうえで施設として池を再生するのかと、それからいろんな施設を作るのかといった改善法を話し合っほしい。PRの視点、利活用の視点、というのは変わってはいない。PRや利活用の話を進めていく中で、ゾーンごとに出る意見を

こちらでまとめたい。基本的なスタンスはここをどう利活用してもらうか、いかに知ってもらうかということでこの話は転化している。ご理解いただきたい。

例えば先ほど森の入り口の池を復活させたいとあったが、子供たちの利活用につながるので今後またご意見いただければ具体的になっていくと思うので、そういう作業になる。

(質問者：小川原) 今後2月頃の会議までの中で来園者を増やすことについて題目があるわけだが、タイムスケジュールに組まれているか。

(回答者：事務局) (?) 組まれている。

(質問者：林) 2月は何をするのか。

(回答者：事務局) 2月は3回目の会議(最後)ということなので、今日の意見の不足部分を訂正し、提言に向けての試案をまとめることになる。場所の利活用をする中での利用者の増加につながるようなゾーンごとの整備を行うという提言。ゾーンごとでもいいですし、全体でもいい。意見をいただいて、事務局でまとめてフィードバックさせていただきたい。

(回答者：前澤部長) 事務局のほうでゾーンごとに意見を整理しようということ考えていた。例えば森の入り口広場だとビオトープを復活して、そこで子供たちが遊べる環境を作りましょうのような、一つ一つの整理を行いたい。

(質問者：市川) ①計画の中で記載すべきものではない、具体的に場所ごとの皆さんのご意見を出せば次までにまとめてくれるということだが、次回までに計画にあたるようなことを考えるのか。それとも来年度にできる委員会で具体的な案が出せるような提案を考えるのか。

②昨日資料が送られてきて、基本計画なども内容を理解しきれしていない。次回以降で内容が理解できる時間が欲しい。

(回答者：事務局) ①・②ゾーンごとの利用計画についても理解をしていただく時間が必要というご意見の中では、少し方向性の

ゾーンにこだわった話し方をしてしまい、より複雑になってしまった。少し時間は必要と思っている。今回様々な意見を既にいただいた中である程度ゾーンの中での活用方法・利活用方法についてはいろいろ見えてきている。本来の利活用も、当時の計画についても大きな区切りはないと思う。それをもとにプラスで「こういう活用方法」という意見がいただけるなかの時間が設けられればと思っているが、2月に3回目を予定しているのでその時間の中でのご意見をいただければと思っている。

(回答者：前澤部長) 集まらなくてもいいので説明をする時間を設けたほうがいい。しっかり理解していただかないと意見も出ないと思う。

(回答者：事務局) 今日の説明では難しいかと思うので、改めて私たちから説明をしたいと思うので、少し時間をおいて改めて集まっていただくか、メールでのやり取りとさせていただきたいと思う。

(質問者：市川) この会議ではどの程度の提案をすればいいのか。

(回答者：事務局) 事務局としては、今の利用計画で進めても問題ないと思っている。ただ機能の中で、例えば森の入り口広場だとしたら市民活動や自然活動などの利用に即していない。ここを強化したいといった意見や、このゾーンの中ならここを強化すべきといった意見が欲しい。

(質問者：林) 古民家の近くにある畑をもっと活用された方がいいのではというのは一つの意見として出せるが、先ほどあったように学校とも連携をして活用という話があつてこそ、もっとそこを良くしようという話に繋がる気がする。この場で一個一個のゾーンの話をする時にその手前の話ではないと、どこを、何を、どこまでしていいのかという話が少し出しづらい。個人的には、活用できる可能性があるだとか、先ほどあった学校との連携の案はとても良かった。案が少しあつて、こういう中ではこういう活用ができるという考え方でないと、個人の主観のみになってしまうと思う。

(回答者：事務局) 主観の中でゾーニングのポイントはその項目のみでは

ない。学習教育の一環でのゾーニングに、そこに限らずここでもできる、ここでもできるという意見の出方でも構わない。主観が入ってもいいと思う。そのゾーンごとを必ず一点に絞るのではなくて様々な特色ある学習活動ができる活動方針があってもいい。それぞれの特色を生かしての意見に主観が入ってもいい。

(意見者：林) 目的があつての方針に対する案分だと思う。私はこういう目的で活用する手段があると思うから方針としてこういうことが出来ないかを、それぞれを出していくという流れになると思う。

(発言者：土田) 具体的でなくてもいいので全体的な意見が欲しい。

~~~~~休憩~~~~~

(発言者：事務局) 先ほどゾーニングという縛りを設けてしまいすいませんでした。この間の現地を確認した中で北側にどういう思いがあつてできたか皆さんに知っていただきたいと思う。利用するうえでこうあったらいいじゃないのか、という意見をいただきたい。場所は特定しません。PRの方法などいろいろ意見をいただきたいと思う。

#### 【ゾーン以外について】

(発言者：土田) 拡張部の全体的な意見をいただきたいと思う。

(意見者：高山) 北側拡張部については、(開園して) 10年経っているにも関わらず、名前が北側拡張部としか表現できていないことが一番問題だと思う。ここについても今は南側と言っているところも、一般の人がアルプス公園という南側しか意識しない。南側と北側を一体化してアルプス公園として積極的に活用するのか、あるいは北側だけ特化して活用するのか、どちらにするのか。そうは言っ

でも今の北側拡張部は利用状況を見ても活用されていないのが事実。活用していただくのが一番。そのためにも北側拡張部として親しまれる名前を付けるとか、公募するとかいろいろな形で提案してもらうのも手だと思う。南側から入ってくる時、一番決定的なのは森の入り口広場や休憩所が拠点となると思いますが、南側から来る人たちが北側に行きたくて来ているのか、北側だけを目指して来ているのかその違いで北側の使い方が変わってくると思う。アンケート、基本調査によると南側に特化したアンケートだと思いますが、市内が40%、市外が50%、市外の利用のほうが多いのがわかるので、もっと市民に活用してもらうようにするのか、あるいは市外の人、県外の人を含めて活用してもらうのか。今は利用者が少ないがいつか許容量を超える来場者が来た場合、どうするのが心配。オーバーユースにならないような状態の利用方法を考える。前提討究を踏んでいかないと北側をどうしようかという意見は個人の考えになってしまうのではないか。どこか大きな旗印のような、目標があればいいと思う。そのための目標が平成11年の基本計画になると思う。基本計画に基づいてこのままいくのか、追加・修正等をして変えて議論をするのか。平成11年の基本計画の基本方針の中で少し変わっているのは、例えば東側は教育・体験・癒し・憩い・芸術がないのでそういうものをコンセプトに入れていけば、それぞれのゾーンや緑地保全道路をどうしていくのかという議論につながると思う。それを支えるもののベースになるのは自然環境ではないか。自然環境を人為的に繁栄させるのか、あるいは自然に戻していくのか。それをどこのゾーンでやっていくのか。平成11年からの基本計画はこのままでいいと思う。追加修正をすればいいと思う。その目標、方向性をどうするのか決めればいいと思う。決まれば来年度できる委員会で検討してもらえればいいと思う。

(意見者：内田)

特定の場所に限らず北側拡張部全体を見て思ったことがいくつかある。1つ目は、看板や案内板が少ないと感

じた。いろいろな場所に行くと薬草園なら薬草園、古民家なら古民家の名前は書いてあるが、そこで具体的に何ができるのかだとか、どんなことが元々されていたのかがわからない。この間の視察で感じたが、冬の季節的に実際に使われていないところだと、何をしている場所なのか、折角訪れてもわからないという印象があった。予算はあると思うが案内板の設置などをしてほしい。今はQRコードなどを使って簡易的な板とかに張り付けて読み込んでもらう形をとる。そこからインターネットと上に飛んでそれが見られるというような工夫が取れると思うのでそこは考えていただければと思います。高山さんと同じだが北側拡張部というとても固いイメージがあって、先日の視察の様子をYou Tubeに載せる際にこの場所をどう示すかということで標記にとっても悩んだ。北側拡張部といっても世の若い人がそれを見てどう思うか、学生などがそれをみて見たいと思うのか、と考えたときに親しまれる名前というのが必要だと感じました。園内全体のマップが欲しい。特に北側についてマップがないため今どこにいるのかがわかりづらいと感じた。各所にマップがあったり、簡易マップが設置されたりすれば良いと感じた。古民家体験学習施設についてですが、私はずっと松本市に住んでいるのですが、あの場所があるという事は知っていましたが、実際あのように立派な建物だったということは知りませんでした。あの場所で月に1回イベントをやるなどして定期的に何か活用をして利用者を増やすなど、知ってもらうきっかけになる必要があると感じた。一番感じたのは各場所に誰が利用するのかというのがぼんやりしている。みんなで使ってもらうというのは大切だと思うが、市民が使うのか、それとも観光客が使うのか、幼稚園生や小学生が使うのか、高齢者が使うのかというところ、全世代平たく使うのも大事だと思うが、そこに対して具体的な何か働きかけが出来るような仕組みがあれば良いと感じた。

(意見者：林)

私は今日改めて基本計画を見たのですが、理念と目的は活性化と自然環境の保全が2つの軸だと改めて認識で

きた。私も方針はこの2つの軸を元に進めるのが良いと思う。自然環境の保全についてですが、少しわからないところがあるのですが、私も知らない魅力などがたくさんあるところだと思っている。そういうところを掲げていけば来場者も増えると思うので、1つの軸として目指していけば良いと思う。個人的な意見になるが、自然がありとても良いから行く、という理由で人がたくさん集まる場所は日本でも数少ないと思う。自然でこういう魅力があるからたくさん人が来ます、というそれだけの場所では人は来ないと思う。そういうのを生かすにも連携が必要。学校との連携はとてもいいと思う。教育は大きいテーマだ。自然を使った教育の場所・学習の場所みたいなのところにしていけば、自然も守られていくし、アルプス公園の自然も知られていくし、人も来るという実現に繋がると思う。もう1つの軸である活性化の面だと、学習の場となってしまうので、若者に限らずいろいろな人が自然に集まれるような場所になれば良いと思っている。自分が考える人が集まる公園というのは、代々木公園とか、井の頭公園など都心のほうになってしまうがそういう公園は日常的に人が集まっているイメージがある。そういうところをモデルに方針や、持ち出しのイベントなどをやっていくのはどうか。このことに関してまだ研究ができていないのでこういう委員会で検討してみてもいいと思う。近くに信州大学があるので学生の方とか一般の社会人の方を含めた方で委員会を作って、人が集まる公園というのはどういう公園なのかというのをみんなで調べたりだとかして、それを元にアルプス公園ではどういう風にやっていくのかを考えて1つの提言を作っていくのはどうか。地域の人も巻き込めるし、一日例を活用したテーマや案を提案できるのではないかと思う。1つの進め方として提案する。

(意見者：市川)

基本方針や計画に関して、今読んだり、高山さんの意見を聞いたりして頭の整理がついた。そのうえで2点考えたことがある。1点目はPRについて、先ほど内田さんが言っていたように誰が使うのか、わかりづらくて整備

に繋がらないというところは、自然間接でももちろん誰でも活用をしていいと思う、ただ情報発信の際にどういう事での効果だとかを明確にすれば（情報を）届けたい人に届くと思う。例えば子供なら学校とかと連携すれば子供たちに届けられると思うし、大人とか親世代、観光客の場合はいろいろな発信ツールが増えてきているのでそういうもので発信して狙っていけばいいと思う。もう一つは里山の活用という点ですが、基本的に活用の方法では里山がキーワードだと思う。計画の方針の中には前の里山の再生イメージが感じられた。もちろん原点回復の中で、前あったものを再生するのも良いが、これからの時代の在り方を考えると、それと全く同じではないと思う。これからの在り方を検討する必要がある。1個の判断になるが最近マレットガーデンという森林の生態を活用して人が生活体験するものもある。そういう活用もありと思った。PRと里山の在り方について意見した。

(意見者：村上)

①PRの方法についてだが、皆さんの意見に学校へお願いするとあったが学校だけでなく、市役所内には例えばスポーツ推進課の熟年体育大学の1年生が今年アルプス公園でウォーキングというのがありましたが、そういう活用方法はどうか。環境エネルギー課で行っているエコスクールなどいろいろと活用できるところがあるので、外に向けてだけではなくて、市役所の中での他の課にPRをするのはどうか。

②前回の資料の中で土地利用の方針というのがあったが、南側と北側のエリアが農林として体制評価して活用されていた。今回私たちは北側の拡張部のみだが、部分部分での活動という案件が当然あると思うが、忘れてほしくないのは環境や自然について。公園としては一体化のもの、もっと環境や自然についてアルプス公園だけでなく奥のほうの岡田とかとも繋がっている自然環境の中で、アルプス公園がどういう役割ができるだとか、他に繋がっているものの自然環境の中で考えなければならぬことを忘れないでほしい。

(意見者：小川原)

資料の37pについてだが、教育行政なんて言葉を使っていますが、先ほど高山さんの方からお話ありました、コンセプトというのでしょうか、南と北側をどういうイメージで活用をしていくのか。前回も述べましたが、南側を「遊び」、北側を「学び」、言葉はともかくそういう内容で進めていくのはどうか。教育行政、教育委員会に関わるので私もよくわかりませんが、学校教育、教育関係である小学校・中学校・保育園などで古民家体験施設周辺での日帰りキャンプを計画してみてはどうか。日程について(添付資料の)1、2、3、4とありますが、日程としてはまず朝子供たちが行き、夕方まで大いに学ぶというようなもので、そこには保護者や祖父や祖母なども行っていただいて、長い経験や歴史などを指導いただけるのではないかと。朝から晩までの日帰りキャンプを提案したい。目的としては、参加者同士の交流、災害時または防災等を考慮し、想定し、その施策のきっかけになればと。行動に移してそれがきっかけになればと思う。きっかけ作りは大切。方法としては、テントを張ったり、食事の用意をしたり、テントを張るにあたっては収容人数があるので、1張何人と決められていると思うのでそこは班分けして行うなど。楽しみながら学んだり、防災関係の学習をしたり、地震災害等ありますが、災害時自分の家から離れなければならない時に、例えば自分の家の近くでテントを張ってその場をしのぐような学びにもなる。そういったことを含めた防災関係の学習。自然観察・動物観察についてはずっと確立されていますのであえて説明をしない。効果としては折角アルプス公園となっているので北アルプスを背景とした有名なロケーションの下で北側拡張部全域を散策し、自然と触れ合い、参加者同士が助け合う、ただ楽しむだけでなく、助け合い学びあうことの、素晴らしさを体感するのも良いと思う。北側拡張部をこの間歩いてみましたが、大変で疲れたという声を聴きましたが、散策には余程の時間と、労力をかけないとその目的が達成できないと。もう1つは予約・許可制で最小限、軽自動車のような抗原のない電気自動車のような電動カートを安全のため市の

方で準備をし、公園内で利用できるようにする。ただし誰でも利用できるではなくある程度限定をして、目的があり荷物の運搬だとか、高齢者、体の不自由な方などが利用するようにすればいいと思う。この間の視察の時に古民家でBBQをしていました。その方たちが子供を連れていたのですが、肉を運ぶ、道具を運ぶで、大変だったと。お父さんが2往復したという話を聞いた。下の北の駐車場から電動カートのようなものを借りられれば、ある程度のお年寄りの方も利用し（行き）やすいのではないかと考えた。今回話していることはお膳立てしているようなことであって、お膳立てしたからってお客さんが来るかという、来園してくれるのかという点に疑問を抱いたので特別に時間を割いてもらいました。先ほど話しましたきっかけ作りですが、法光寺町会内でこの話をしたところ、女性の方ですが、法光寺（町会）で生まれてアルプス公園に遠足に来たと、とても楽しかったと、自分の孫も連れて遊びに来ているそう。そういう人生の中で思い出作りはとても大切だと思っている。そこでちょっとしたきっかけで大きく、または人生が変わることになると思う。自然の中での学びはとても大切だと思う。

【意見者：丸山】

先ほど TOY BOX の渡邊さんに話を聞いたら、（アルプス公園の）季節の案内のパンフレットがあるだけで、アルプス公園にどんな動植物がいて、どんな鳥がいるかという事がほとんどわからない。ですからパンフレットを来年とは言わないから、冬にかけて新しいパンフレットを作っていただきたい。それでアルプス公園のPRを行いたい。そうすればそれを見ながらこんな動植物があるや、鳥がいたなど自然観察の場となるアルプス公園になるのではないかと思う。

【意見者：土田】

使いやすい。利用しやすい公園であってほしいと思う。そういう面では坂道を平たんにしてもらいたい、遠い施設は遠いところに行かなくても身近で学習できる施設等が欲しい。花の丘を第2のしぜん観察の森として利用できないか。目的はウォーキングとして利用し健康づ

くりの場としてはどうか。実際に使っている人もいる。健康づくりの関係課にお願いできるか。

【発言者：事務局】 今回いただきました意見等は集約して、ゾーニングに当てはめて、提言前のたたき台としていただきたいと思います。またメールにて皆さんの思いがまだあると思うのでもう少し意見を集約させていただきたい。また、わからない部分の説明も行っていきたい。

【発言者：内田】 自分が所属している信州大学のサークルにて You Tube チャンネルを持っていて、そこに先日視察で市川さんと動画撮影をしたものを、市川さんがまとめてくださった動画をこちらにアップしている。You Tube の URL については公園緑地課からのメールで送っているので共有していただければと思う。続編についてもまだたくさん撮っているのもう少しで上げたいと思う。

【発言者：事務局】 反響はあったか。

【発言者：内田】 動画を挙げたのが昨日のため、まだ周知できていない。周知をしていこうという段階。アルプス公園北側拡張部と検索してもらえれば出てくる。それか自分のチャンネルにも上げていて、前回の多事総論会のものも上げている。休日の放課後と検索すると別の動画に繋がる。そのチャンネルでも見られる。

【発言者：事務局】 次回の3回目の会議について提言に向けての方針については意見を集約するうえで整理をしたい。については今日利用目的についての平成11年の説明をしたが、その中で基本的な考え方は変えない。突然の説明で混乱を招いてしまいお詫びをする。今日課題としてあったのがこの組織について。提言を受けて、私ども市のサイドとしては来年度2回目の運営を進めていきたい。その中で環境に関する教育そういったものをぜひ市民の方との協力が不可欠と考えている。そういう中で当時平成11年の中で当時の検討会議でやはり市民のボランティアという

組織を立ち上げる中で、ぜひともそういう形を進めていきたい。当初の管理運営会議では当初は指定管理がなかった状態。今回は指定管理が加わった状態で、市民と指定管理を繋ぐボランティアを管理委運営委員が管理していく。当時（平成11年）に考えられていた。臣民団体の活動の場を立ち上げていくような今後組織が必要と考えている。具体的な活用意見を言っただけのような、組織も考えている。それにかかわる資料をまた改めて遅らせていただきたい。3回目はそれも加えた議題にしていきたい。

**【質問者：小川原】** 今のはアルプス公園に限ってのことなのか、市民もというと松本市内にある公園のことも含まれているのか。

**【回答者：事務局】** 指定管理が TOY BOX ということになっていて、その指定管理はアルプス公園のみになっているのでアルプス公園のみになる。指定管理者が行う事業は自主事業という事になるので、皆さんに考えていただきたい。